



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月31日

上場会社名 クニミネ工業株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5388 URL <https://www.kunimine.co.jp>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 國峯 保彦  
問合せ先責任者（役職名） 取締役副社長 管理部長（氏名） 勢藤 大輔 (TEL) 03(3866)7256  
半期報告書提出予定日 2024年11月8日 配当支払開始予定日 2024年11月26日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・マスコミ向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	7,364	△0.5	461	12.4	581	△15.9	374	△20.7
2024年3月期中間期	7,397	5.2	410	179.7	691	43.3	472	86.9

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 585百万円(△16.9%) 2024年3月期中間期 705百万円(△1.4%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	30.53	—
2024年3月期中間期	37.88	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	25,076	21,808	83.9
2024年3月期	25,228	21,867	84.0

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 21,040百万円 2024年3月期 21,201百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
2025年3月期	—	15.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	25.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,300	4.0	1,380	12.1	1,560	△5.2	1,037	△0.6	83.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	14,450,000株	2024年3月期	14,450,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	2,271,488株	2024年3月期	1,977,187株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	12,278,326株	2024年3月期中間期	12,478,605株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(中間連結キャッシュ・フロー計算書関係)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間の当社グループを取り巻く環境は、経済活動の正常化や賃上げが景気を下支えし、総じて緩やかな回復基調となりました。鉱工業生産は、主力の自動車産業において半導体不足の緩和や生産能力の増強による回復が一部で見られるものの、大手メーカーの不正問題や自然災害による生産停止の影響を受け、生産台数は低調に推移しており、今後も厳しい見通しとなっております。一方、世界経済ではウクライナ情勢の長期化、中東情勢の緊迫化による資源・エネルギー価格の高騰を起因とした物価上昇や、各国の金融政策による為替変動等、先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況のもと、当社グループは、高付加価値製品・サービスの提案、適切な価格改定などの販売活動を強化するとともに、より一層のコストダウンへの取り組みを進めることで、収益確保に向けて注力してまいりました。今後も、円安・インフレの進行とエネルギー価格高騰によるコスト上昇が懸念され、予断を許さない状況が続いておりますが、引き続き製品・サービスの高付加価値化、販売価格の適正化、原価低減による収益の改善に取り組んでまいります。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高は7,364百万円(前年同期比0.5%減)、営業利益は461百万円(同12.4%増)、経常利益は581百万円(同15.9%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は374百万円(同20.7%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当中間連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同中間期比較については、前年同中間期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### ① ベントナイト事業

素形材分野は、主に建機やトラック向け等の主要得意先における減産の影響により、若干の減収となりました。環境建設分野は、建築資材の高騰や人手不足等の影響で一般土木工事の需要が低調に推移し、また地熱向けも需要が一服したこと等により、減収となりました。ペット分野は、需要は一服したものの、不採算品目の整理を行った結果、減収増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は5,413百万円(前年同期比 6.4%減)、セグメント利益は541百万円(同 25.6%減)となりました。

#### ② クレイサイエンス事業

クニピアの一般工業用途としての輸出向けの需要が回復したことに加え、各分野において前期から取り組んでいる価格改定の効果により、増収増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は1,016百万円(前年同期比 31.4%増)、セグメント利益は193百万円(前年同期はセグメント損失22百万円)となりました。

#### ③ アグリ事業

農薬受託加工において、特に殺虫・殺菌剤の需要が増加したことに加え、ベントナイト販売も堅調に推移したため、増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は934百万円(前年同期比 11.4%増)、セグメント損失は18百万円(前年同期はセグメント損失93百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

総資産は前連結会計年度末に比べ152百万円減少し、25,076百万円となりました。これは主に無形固定資産が274百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が481百万円減少したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ93百万円減少し、3,267百万円となりました。これは主に買掛金が193百万円増加したものの、未払金が159百万円、未払法人税等が140百万円減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ58百万円減少し、21,808百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定が143百万円、非支配株主持分が102百万円増加したものの、自己株式の取得により332百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く環境は引き続き厳しいものが継続すると考えられますが、当中間連結会計期間における業績は概ね計画通り推移していることから、通期業績予想につきまして、現時点におきましては前回発表(2024年5月10日)からの変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,641,247	8,742,008
受取手形及び売掛金	4,515,369	4,033,677
商品及び製品	643,397	678,571
仕掛品	581,647	614,575
原材料及び貯蔵品	2,402,463	2,393,080
その他	37,770	88,094
貸倒引当金	△196	△1,469
流動資産合計	16,821,700	16,548,538
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,829,548	1,804,950
機械装置及び運搬具(純額)	1,795,599	1,683,310
土地	1,875,419	1,875,419
リース資産(純額)	64,748	54,469
建設仮勘定	71,972	95,756
その他(純額)	121,764	112,354
有形固定資産合計	5,759,053	5,626,261
無形固定資産	263,262	538,036
投資その他の資産		
投資その他の資産	2,386,186	2,364,780
貸倒引当金	△1,584	△1,584
投資その他の資産合計	2,384,602	2,363,196
固定資産合計	8,406,918	8,527,494
資産合計	25,228,619	25,076,032
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	762,172	955,924
未払金	788,771	629,289
未払法人税等	292,873	152,471
賞与引当金	165,005	167,995
その他	110,006	121,238
流動負債合計	2,118,830	2,026,919
固定負債		
リース債務	43,835	34,158
繰延税金負債	11,494	16,854
退職給付に係る負債	15,969	16,854
閉山費用引当金	620,685	629,166
資産除去債務	23,494	23,494
その他	526,581	519,851
固定負債合計	1,242,062	1,240,379
負債合計	3,360,892	3,267,298

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,800	1,617,800
資本剰余金	3,672,201	3,672,201
利益剰余金	16,992,515	17,055,547
自己株式	△1,758,775	△2,091,751
株主資本合計	20,523,740	20,253,797
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	358,151	327,388
繰延ヘッジ損益	—	△4,399
為替換算調整勘定	320,041	463,438
その他の包括利益累計額合計	678,193	786,427
非支配株主持分	665,792	768,509
純資産合計	21,867,726	21,808,734
負債純資産合計	25,228,619	25,076,032

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	7,397,620	7,364,210
売上原価	5,369,763	5,323,114
売上総利益	2,027,857	2,041,095
販売費及び一般管理費	1,617,058	1,579,421
営業利益	410,799	461,673
営業外収益		
受取利息	22,665	31,473
受取配当金	70,433	133,491
有価証券売却益	77,068	—
為替差益	88,139	—
その他	25,878	11,020
営業外収益合計	284,186	175,985
営業外費用		
支払利息	1,841	1,952
コミットメントフィー	1,256	1,256
為替差損	—	51,629
その他	—	851
営業外費用合計	3,097	55,689
経常利益	691,887	581,969
特別利益		
固定資産売却益	9,677	3
投資有価証券売却益	—	7,574
特別利益合計	9,677	7,578
特別損失		
固定資産除却損	9,505	10,615
特別損失合計	9,505	10,615
税金等調整前中間純利益	692,059	578,933
法人税、住民税及び事業税	205,676	141,099
法人税等調整額	△2,254	22,396
法人税等合計	203,422	163,495
中間純利益	488,637	415,437
非支配株主に帰属する中間純利益	15,948	40,585
親会社株主に帰属する中間純利益	472,688	374,852



## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	488,637	415,437
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43,108	△30,763
繰延ヘッジ損益	—	△4,399
為替換算調整勘定	173,589	205,529
その他の包括利益合計	216,698	170,365
中間包括利益	705,335	585,803
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	636,144	483,086
非支配株主に係る中間包括利益	69,191	102,717

## (3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書関係)

中間連結会計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	416,237千円	406,345千円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年3月21日開催の取締役会決議に基づき、自己株式294,300株の取得を行っております。この結果、当中間連結会計期間において、単元未満株式の買取による増加を含め自己株式が332,975千円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が2,091,751千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ベント ナイト事業	クレイサイエ ンス事業	アグリ事業	合計		
売上高						
素形材	3,512,069			3,512,069	—	3,512,069
環境建設	1,782,361			1,782,361	—	1,782,361
ペット	490,854			490,854	—	490,854
クレイサイエンス		773,366		773,366	—	773,366
アグリ			838,967	838,967	—	838,967
顧客との契約から生じる 収益	5,785,286	773,366	838,967	7,397,620	—	7,397,620
外部顧客への売上高	5,785,286	773,366	838,967	7,397,620	—	7,397,620
セグメント間の内部売上高 又は振替高	48,166	48,101	—	96,268	△96,268	—
計	5,833,453	821,468	838,967	7,493,888	△96,268	7,397,620
セグメント利益又は損失(△)	727,263	△22,944	△93,313	611,004	△200,205	410,799

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△200,205千円には、セグメント間取引消去△2,057千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△302,970千円及び棚卸資産の調整額104,822千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ベント ナイト事業	クレイサイエ ンス事業	アグリ事業	合計		
売上高						
素形材	3,304,119			3,304,119	—	3,304,119
環境建設	1,648,150			1,648,150	—	1,648,150
ペット	460,755			460,755	—	460,755
クレイサイエンス		1,016,269		1,016,269	—	1,016,269
アグリ			934,915	934,915	—	934,915
顧客との契約から生じる 収益	5,413,025	1,016,269	934,915	7,364,210	—	7,364,210
外部顧客への売上高	5,413,025	1,016,269	934,915	7,364,210	—	7,364,210
セグメント間の内部売上高 又は振替高	59,482	49,803	—	109,285	△109,285	—
計	5,472,507	1,066,072	934,915	7,473,495	△109,285	7,364,210
セグメント利益又は損失(△)	541,172	193,654	△18,310	716,515	△254,842	461,673

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△254,842千円には、セグメント間取引消去1,271千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△282,346千円及び棚卸資産の調整額26,232千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間より、当社組織変更に伴い、報告セグメントを従来の「ベントナイト事業」、「クレイサイエンス事業」の2区分の内、「クレイサイエンス事業」の区分に属していたアグリビジネス分野を「アグリ事業」として独立したセグメントへ変更しております。また、ファインケミカル分野及びライフサイエンス分野については、採算管理の適正化のため、当中間連結会計期間より、顧客との契約から生じる収益を分解した情報の表示方法を変更しております。変更後の区分は下記のとおりであります。

新区分	新区分の主な製品およびサービス	旧区分
クレイサイエンス	精製ベントナイト、環境保全処理剤 化粧品用途向け精製ベントナイト、環境改良剤、飼料等	ファインケミカル ライフサイエンス
アグリ	農薬加工、農薬基剤及び農薬加工原材料、農業資材等、土壌改良剤、農薬用途向け精製ベントナイト	アグリビジネス